

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1595000017		
法人名	社会福祉法人 彩のかけはし		
事業所名	グループホームせいらう(2ユニット共通)		
所在地	北蒲原郡聖籠町大夫2204-1		
自己評価作成日	令和5年12月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigvosoCd=1595000017-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和6年2月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

感染症の流行に伴い多くの制限がありましたが、少しずつ地域の方と接する機会をふやしており、春には駐車場の梅の木からボランティアの方と専門学生と一緒に梅もぎを行いました。自然に囲まれており、ご近所の方から栗や柿をいただいたり、同じ事業所内で農園をしているので季節によって旬のとれたて新鮮な野菜を調理して提供しています。家庭的な雰囲気の中で、ご利用者と一緒に菊をみたり、それぞれ役割を持って生活されています。町の社会福祉協議会や行政機関とも協働しており、寄付の物をいただいたり、認知症カフェに参加したり、外出の機会を設けています。まだ完全にはコロナ禍前には戻っていませんが、積極的に地域の方との関りを今後徐々に増やしていこうと考えています。ご家族などのご協力やご理解を得て、楽しく、安心して過ごしていただけるようにサービスを提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○安心して暮らせる生活環境
平成18年6月、聖籠町で初のグループホームとして開設した事業所であり、開設当初から地域の福祉資源として貢献している。事業所は地域の住宅地の中にあり、窓からは田畑が見渡せる平地が広がっている。公園や児童遊園も多い地域で、四季折々の季節を感じながら地域の中で暮らしていくことができる環境にある。開設して18年を迎えるが、室内は清潔感が保たれ、床暖房により空気や肌の乾燥を防ぐ効果を得ながら、心地よい温かさが感じられる利点がある。壁面には利用者の作品や季節感のある装飾がされ、利用者は自分の居場所としてゆっくり過ぎる時間の中で暮らしている。

○職員の学びとモチベーション向上の取組

職員は、毎月各フロア毎に職員会議を開催したり、利用者の状況に応じてカンファレンスで話し合っただけでなく、利用者ケアに反映させており、日頃より良好なチームワークが取れている。事業所内研修の年間計画では、職員が担当制で研修を受け持ち、資料作りから研修の開催、終了後の集計・まとめまで担っている。担当職員は研修を行う前にインターネット等活用して調べてから研修に臨み、他職員へ伝えることで専門職の学びを深める機会となり、研修した内容がきちんと自分のものにできるようなシステムである。これらの取り組みは、職員のスキルアップとモチベーション向上にも繋がるとともに、利用者・家族へのサービス向上に活かされている。

○関係機関との連携

行政とのつながりが親密で、運営推進会議を通して情報交換が行われている他、生活保護や日常生活自立支援事業に関する事務的な手続きや制度の確認、定期訪問等で日常的に連絡・相談を取り合っている。また、行政主催の研修への職員参加や地域包括支援センター主催の認知症カフェの開催(今年度は各月で事業所開催)、ボランティアの協力など、二人三脚の関係ができています。家族へは入居後も協力が必要なことをお願いし、定期受診の付き添いや自宅への外出・外泊、墓参りでは家族の協力を得ており、利用者を一緒に支えていく関係を大切にしている。法人が運営する各事業所間においても連携がとれており、看護師による緊急時の相談・対応、研修など、協力体制が確立している。利用者の住み慣れた地域での暮らしを支えるため、関係機関、家族の協力を得ながらこの地域に欠かせない事業所である。